



足立区販売図書一覧

画像	書名・内容紹介	価格(税込)
	<p>『区制90周年記念文化遺産調査特別展 「琳派の花園 あだち」』</p> <p>江戸時代後期、足立の地で琳派が花開いたことをご存じでしょうか。それは、江戸琳派の祖ともいわれる酒井抱一が千住にゆかりの人物だったことに端を発します。鈴木其一門下の絵師である村越其栄、向栄親子が幕末から明治にかけて千住に居を構えて活動したことで、さらに多くの作品が生まれ、豊かな文化が育まれてきました。</p> <p>足立区制90周年にあたる令和4年(2022年)、平成22年(2010年)よりスタートした足立区文化遺産調査の成果の中から、千住・足立の琳派作品にスポットを当てて紹介します。</p>	1,200円
	<p>『令和3年度文化遺産調査特別展 「谷文晁の末裔」』</p> <p>江戸時代後期、足立の文人活動の中心的な参加者となった、関東画壇の代表格の絵師「谷文晁」。</p> <p>文晁の孫としてその系譜を継いだ二世谷文一に注目し、二世文一が仕えた宮津藩(京都府宮津市)や深い交流を結んだ足立の地をはじめ、各地に残る資料から未だ謎の多いその経歴・活動に迫っていきます。</p> <p>さらに、二世文一と同時代を生きた文晁一門「谷派」の絵師たちの活動を紹介します。</p>	1,200円
	<p>『令和2年度文化遺産調査特別展 「名家のかがやき」』</p> <p>江戸から明治にかけて、足立では美術と文化を愉しむ名家が誕生します。</p> <p>日本最初の和独辞書を発行した日比谷健次郎家、幕府御用絵師狩野派の門人を生んだ石出掃部介家は、ともに狩野派の美術品や文化遺産を今日に伝えました。</p> <p>そうした美術品や教養文化に満ちあふれた逸品を紹介します。</p>	700円

	<h2>ビビビ美アダチ</h2> <p>ビビビ美アダチは足立区公式X（旧Twitter）に連載した4コマ漫画を加筆・再編集したものです。足立区の文化遺産調査では、これまでの歴史・民俗調査で得た情報の上に新たな情報をひもとき、豊かな足立の美術文化を明らかにしてきました。「ビビビ美アダチ」では、文化遺産調査の成果をわかりやすく紹介しています。</p>	<p>900円</p>
	<h2>足立区基本計画[改訂版]（令和3～6年度）</h2> <p>「足立区基本計画」はその名の通り、当区のあらゆる分野別計画のトップに位置する要の計画です。今回の改定にあたっては、改めて施策を一つひとつ見直し、その実現に向かっての筋道をつける目的で、それぞれの「成果指標」に対する「活動指標」を設定しました。これによって、「成果指標」に向かう行程がくっきりと浮かび上がり、おのずと区政の進行方向がキャッチできる計画となっています。</p>	<p>800円</p>